



かわら版

NO. 33

桑名市教育委員会イメージ
キャラクター「くわっほ」

多度地区小中一貫校整備事業

多度学園の造成工事 調整池工事が順調に進んでおります

多度学園の整備事業におきまして、現在、造成工事が進められており、その中の1つであります調整池工事につきましては、天候にも恵まれ、予定通り進捗が図られております。現場では、大型重機等が動いておりますが、子どもたちの授業の妨げにならないよう進めております。

現場工事に携わっている方からは、『子どもたちから、「頑張ってください」と声をかけられるので、とてもやりがいを感じている。』という声がありました。引き続き、子どもたちのために自慢の学校となるように整備を進めて参ります。

なお、地元の方々には何かとご迷惑・ご不便をおかけしていることと思っておりますが、引き続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

<地下調整池の整備の様子>



※調整池とは、開発に伴って失われた保水機能を補うため、雨水を一時的にためて河川への雨水の流出量を調節することにより洪水被害の発生を防止する施設です。

調整池の敷地を有効活用し、この場がスクールバスの乗降場になる予定です。



多度学園 開校準備委員会による現地視察

3月20日（水・祝）に第12回開校準備委員会を開催いたしました。委員の皆様による現地視察を行い、工事の進捗状況などについての説明がありました。視察では、子どもたちの視点に立って眺めを体感されたり、高低差を活かして校舎がどのように配置されるのかなどについて熱心に説明を聞かれました。



多度学園校歌作成について

3月20日の開校準備委員会では、超校歌プロジェクトより校歌作成に関する進捗状況等についての説明がありました。現在は歌詞案の著作権チェックを慎重に行っていただいております。また、生成AIを使った作成手順等についても子どもたちの意見等を反映できるようにしている旨の説明がありました。

今後は、開校準備委員会等が生成AIを使ったメロディのフレーズ作成を行い、その後、超校歌プロジェクトの音楽専門家が、地域の案を活かしたメロディ案を作成し、編曲等の作業を経て、令和6年度末の完成を目指して参ります。

スクールバスについて

令和5年度の地域連携部会では、スクールバスのルート案や徒歩通学路、登下校の見守りなどについて協議いただきました。これらのうち、スクールバスについては、下記のようなことが確認されております。

- ・スクールバスのルートは、下記の5ルートを想定する。 ※かわら版No.27と重複する内容は、省略させていただきます。
- ・中型バス2台とマイクロバス3台を併用する。

【スクールバスルート（案）】※下記はR5年度末時点の案です。

Aルート（中型）：美鹿・古野・北猪飼

Bルート（中型）：御衣野・力尾・猪飼・小山の一部*1

Cルート（マイクロ）：下野代

Dルート（マイクロ）：中須*2・大鳥居・南之郷

Eルート（マイクロ）：上之郷・東福永・平古・西福永

- *1 小山の徒歩通学範囲外のみ
- *2 中須はDルートを基本にしますが、乗車実数によっては、R8年度のみEルートになる可能性があります。

走順やバス停位置などについては、バス会社等との確認の後、お知らせいたします。

【事務担当】 桑名市教育委員会事務局 新たな学校づくり課 Tel：24-1354



<かわら版>